

2020年1月30日

報道各社御中

ピンクシャツデー2020 神奈川推進委員会

ピンクシャツデー2020 in 神奈川
～「いじめストップ！」ワールドアクション～

ちがう国籍。ちがう文化。ちがうファッション・・・。
ちがうことはあたりまえ。ちがうことは大切な個性。
だからこそ、たがいを認め合う神奈川に。共に生きる神奈川に。

神奈川県内で「いじめストップ！」の動きに賛同する行政、企業、個人が推進委員会を組織し運動の普及啓発に2018年から取り組んでいます。

昨年イベント当日には、黒岩県知事・林横浜市長を始め多くの方々が賛同のメッセージを寄せてくださり、ピンクのアイテムを身につけてくださいました。みなとみらいの観覧車やマリントワーもピンクにライトアップされる等、「いじめストップ！」の取り組みが大いに盛り上がりました。



2020年もピンクシャツデー月間である2月に様々なイベント、チャリティ活動が開催されます。未来を担う子ども達のためにもこの活動が広く認知され、「いじめが起きない社会」を共に創れるよう心から願っております。

事前告知や当日の様態など、記事掲載をしていただき「いじめストップ！」にお力添えをいただくようお願い申し上げます。

<イベント>

プレ	1.横浜ワールドポーターズ	2月 9日(日)	①13時～②15時～
	2.ランドマークプラザ	2月16日(日)	①13時～②15時～
	3.横浜駅西口駅前広場	2月24日(月・休)	①11時～②14時～
ファイナル	4.新都市プラザ	2月26日(水)	①13時～②15時～

<問合せ先> ピンクシャツデー2020 神奈川推進委員会 事務局

(認定NPO 法人神奈川子ども未来ファンド)

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内

TEL&FAX/045 (212) 5825 (担当/野北)

■ ご挨拶

ピンクシャツデー2020 神奈川推進委員会代表

山崎美貴子

カナダの2人の高校生の行動をきっかけに、2008年に始まったいじめ防止の取り組みが、今では世界70か国以上に広がっています。2018年度の神奈川県内の小中高校と特別支援学校のいじめ認知件数は25,106件と前年度25%増、過去最多となっています。多様性を認め、いじめをなくす姿勢をキャンペーンを通して発信していきます。Tシャツや缶バッジなどのピンクシャツ応援グッズもございますのでご協力頂けましたら幸いです。



■ イベント開催概要

<プレ・イベント>

1. 横浜ワールドポーターズ 2F 自動車側正面ゲート横 特設会場

日時：2月9日（日） ①13時～ ②15時～

内容：●N.U. ライブステージ

「ピンクシャツデー・テーマソング」の作詞・作曲はアコースティックデュオ「N.U.」（エヌ・ユウ）。

●一般社団法人ここから未来

（「見逃さないで、いじめのSOS」（遺族からのメッセージと朗読）・活動展示等）

2. ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア

日時：2月16日（日） ①13:00～ ②15:00～

内容：●N.U.ライブステージ

●ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）

※虐待といじめを描いた原作は150万部のロングベストセラー。神奈川子ども未来ファンドが10年に亘り、朗読劇公演を県内各地で開催、好評を博した。

3. 横浜西口駅前広場（横浜タカシマヤ正面入口前※雨天・荒天時は6階特設会場）

日時：2月24日(月・休) ①11時～ ②14時～ (2回ステージ)

内容：●人気声優陣によるミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）

●LIVEパフォーマンス（出演/N.U.・東池袋52fromクレディセゾン・横浜タカシマヤダンスユニット・MIOSIC）

<ファイナル・イベント>

4. 新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前）

日時：2月26日(水) 13時/15時（2回ステージ）

内容：●N.U.ライブステージ

●ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）

●NPO法人ジェントルハートプロジェクト

（いじめで苦しむ子どもたちから大人へのお願い・いじめで亡くなった子ども達のパネル展示）

●横浜市立領家中学校吹奏楽部の演奏&生徒会からの「いじめストップ！宣言」

●パネル展/中学生の人権作文、ピンクのシャツを着用した個人、団体、企業等の写真等。

■ 「ピンクシャツデー」とは

ピンクの物を身に付け「いじめ反対」の意思表示をする日です。

2008年カナダ・バンクーバーで起きた実話から始まりました。ピンクのシャツを着た男子生徒がからかわれ、いじめにあいました。2人の上級生が「ぼくもピンクのシャツを着て、いじめストップを！」とSNS等で提案。翌日、呼びかけに賛同し、ピンクのシャツや小物を身につけて登校した生徒たちで学校中がピンク色にそまり、いじめはストップしました。

州知事がこのエピソードを知り、2月最終水曜日を「ピンクシャツデー」と宣言しました。今では世界70か国以上のワールドアクションとなっています。

* 1965年7月、横浜市とバンクーバー市は姉妹都市提携しました。また、1981年5月には姉妹港提携も行いました。

■ 関連サイト

- * ピンクシャツデー2019 in 神奈川
～「いじめストップ！」ワールドアクション～
<https://www.kodomofund.com/pinkshirtday/>
- * 神奈川子ども未来ファンド
<https://www.kodomofund.com/>

■ キャンペーンタイトル・主催・後援・事務局

ピンクシャツデー2020in 神奈川

～「いじめストップ！」ワールドアクション～

主催／ピンクシャツデー2020 神奈川推進委員会・認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド

後援／神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、神奈川県人権擁護委員連合会、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、神奈川県弁護士会、神奈川県行政書士会、公益社団法人神奈川県医師会、一般社団法人神奈川県歯科医師会、公益財団法人神奈川県薬剤師会、公益社団法人神奈川県病院協会、公益社団法人神奈川県看護協会、日本赤十字社神奈川県支部、一般社団法人神奈川県経営者協会、一般社団法人神奈川県経済同友会、一般社団法人神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、一般社団法人横浜銀行協会、神奈川県生産性本部、神奈川県農業協同組合中央会、公益社団法人神奈川県観光協会、公益社団法人横浜貿易協会、一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会、公益社団法人神奈川県産業資源循環協会、一般社団法人横浜青年会議所、神奈川県生活協同組合連合会、連合神奈川、かながわ教職員組合連合、横浜市教職員組合、神奈川県民生委員児童委員協議会、一般財団法人横浜市安全教育振興会、神奈川県PTA協議会、横浜市PTA連絡協議会、神奈川県子ども会連絡協議会、横浜市子ども会連絡協議会、公益財団法人神奈川県体育協会、学校法人神奈川大学、一般社団法人神奈川県バス協会、一般社団法人神奈川県トラック協会、神奈川新聞社、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、tvk（テレビ神奈川）、NHK 横浜放送局、FMヨコハマ（2020年2月5日現在・予定を含む）

事務局／認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1

横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内

TEL&FAX／045（212）5825（担当／野北）

E-mail：info@kodomofund.com

URL：<https://www.kodomofund.com>

- * 「ピンクシャツデー」のお問い合わせは神奈川子ども未来ファンド事務局にお願いします。

■ 認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンドとは

企業、組合、商店街等のご協力で広く寄付を募り、子ども・若者や子育てに関わる NPO（民間非営利組織）に活動資金を助成し、子どもの課題を広く伝えることを主な活動としています。

主な活動は次の通りです。

- ・ 寄付・募金の受入、寄付受入プログラムの開発・実施
(2018 年度寄付金品・協賛金合計 4,014,504 円)
- ・ NPO への活動資金助成・運営支援
(2019 年度まで、延べ 111 団体へ総額 3,650 万円を助成)
- ・ 神奈川県内の子ども・若者や子育てを支える活動に関する情報提供
団体検索 Web ページ「子どもの居場所情報箱」提供やメールマガジン、広報紙発行を通じて、県内の子ども・若者や子育てに関わる市民活動団体の情報を発信
- ・ 子ども・若者の育ちを支えるための啓発事業
- ・ 朗読劇「ハッピーバースデー」
(横浜・相模原・川崎・横須賀・小田原/12,500 名動員)
- ・ 子どもファンドセミナー I、II、III
- ・ いじめストップキャンペーン
- ・ ピンクシャツデー2018 in 神奈川 ～「いじめストップ！」ワールドアクション～
- ・ ピンクシャツデー2019 in 神奈川 ～「いじめストップ！」ワールドアクション～

◎推進委員名簿

2020/1/30 現在

区 分	氏 名	所 属 等
特別顧問	黒岩 祐治	神奈川県知事
特別顧問	林 文子	横浜市長
特別顧問	梅沢 裕之	神奈川県議会議長
特別顧問	横山 正人	横浜市会議長
特別顧問	桐谷 次郎	神奈川県教育委員会教育長
特別顧問	鯉淵 信也	横浜市教育長
代表推進委員	山崎美貴子	前神奈川県立保健福祉大学学長
副代表推進委員	山添 訓	(公財)横浜 YMCA 本部事務局長
//	吉富 多美	児童文学作家/神奈川県子ども未来ファンド副理事長
特別推進委員	坂田 清一	神奈川県人権擁護委員連合会顧問
//	田口 努	(公財)横浜 YMCA 総主事
//	馬場 洋一	(認定特非)神奈川県子ども未来ファンド理事長
推進委員	東 幾世	(株)テレビ神奈川取締役総務局長
//	岩谷 伸一	学校法人 岩谷学園学園長
//	大川 哲郎	(特非)横浜スタンダード推進協議会副理事長
//	一瀬 透	(特非)美しい港町横濱を作る会
//	秋山 理砂	(株)神奈川新聞社経営戦略本部事務局長
//	加茂 大輔	神奈川県生産性本部事務局長
//	北川 剛司	北川商事株式会社代表取締役社長
//	小林 正明	神奈川県生活協同組合連合会代表理事専務
//	坂井 雅幸	(認定特非)神奈川県子ども未来ファンド副理事長/(公社)横浜貿易協会常務理事
//	斎藤 ゆか	神奈川大学人間科学部教授
//	鈴木 一男	(株)ダイイチ代表取締役会長
//	鈴木 伸哉	横浜高速鉄道(株)代表取締役社長
//	関山万里子	神奈川県ユニセフ協会事務局長
//	高見澤尚弘	(株)高尚代表取締役
//	藤木 久三	(株)ありあけ 代表取締役会長
//	松森 繁	日本赤十字社神奈川県支部事務局長
//	安室 伸一	(認定特非)神奈川県子ども未来ファンド理事/安室商事(株)代表取締役社長
//	横田 竜一	(一財)横浜市安全教育振興会理事長
監事	工藤 誠一	神奈川県私学団体連合会 委員長
//	飛田 桂	神奈川県弁護士会所属弁護士
オブザーバー	小出 静香	神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部青少年課長
	宮村 進一	神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課長
	井上 雄太	横浜市民局人権課啓発等担当課長
	宮生 和郎	横浜市教育委員会人権教育・児童生徒課担当課長
事務局		認定 NPO 法人神奈川県子ども未来ファンド